

国語科調査研究報告書

<p>書名 観点</p>	<p>東書 新編 新しい書写</p> <p>1 3 1    2 3 1    3 3 1    4 3 1    5 3 1    6 3 1</p>
<p>取 扱 内 容</p>	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～画の付き方を比べる活動などを通し、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～組立て方を理解する活動などを通し、文字を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～用紙に合わせて書く活動などを通し、配列を決め文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画の形と筆の動きに注意して書く活動などを通し、点画の種類、筆圧に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～4字までの文言の題材で、文字のつながりを意識して書く活動などを通し、穂先の動きと点画のつながりを理解して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～文字の中心や筆順、組立てなど、毛筆で学んだことを生かし硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～筆順や文字の配列など、毛筆で学んだことを生かし硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「生活にひろげよう」において、感謝状を書く活動。</p> <p>第3,4学年～「生活にひろげよう」において、新聞記事を書く活動。</p> <p>第5,6学年～「生活にひろげよう」において、パンフレットを書く活動。</p>
<p>内 容 の 構 成 排 列 ・ 分 量 等</p>	<p>○ 内容の構成については、他教科で活用できるようノート例を示したり、伝統文化に触れることができる教材を扱ったりするなど、学んだことを日常生活に生かすように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、毛筆について1字の漢字の画の長さ、間隔、方向の学習の後に、2字の漢字の筆順と字形の関係や硬筆との関連、平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第4学年で硬筆は3ページ、毛筆は19ページであり、総ページ数は49ページで前回と同様となっている。</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 国語の教科書との関連を図った教材や、各教科の学習に活用できる教材を掲載するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 学習過程を示したり、単元の学習に関わる全学年の既習事項を記号で示したりするなど、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 巻頭に文字に関連した教材や、目次に既習事項を想起できるイラストを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

国語科調査研究報告書

<p>書名 観点</p>	<p>学図 みんなと学ぶ 小学校書写</p> <p>1 3 2    2 3 2    3 3 2    4 3 2    5 3 2    6 3 2</p>
<p>取 扱 内 容</p>	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～線の長さや方向注意する活動などを通し、文字を正しく書く。 第3,4学年～大きさや配列に注意する活動などを通し、文字を整えて書く。 第5,6学年～様々な用紙で書く活動などを通し、配列を決め文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～少字数の題材で、点画の形とその形を作る筆の動きに注意しながら書く活動などを通し、点画の種類、筆圧に注意して書く。 第5,6学年～漢字仮名交じりの題材で、文字のつながりを意識して書く活動などを通し、穂先の動きと点画のつながりを理解して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～漢字の組立て、字形など、毛筆で学んだことを生かし硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。 第5,6学年～筆順と点画のつながりなど、毛筆で学んだことを生かし硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用・探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「しりょう」において、あさがおの観察カードを書く活動。 第3,4学年～「資料」において、ローマ字で名前や地名を書く活動。 第5,6学年～「資料」において、目的に合った筆記具を選んで書く活動。</p>
<p>内容 の構 成 排 列・ 分 量 等</p>	<p>○ 内容の構成については、獲得した技能がどのような場面で使われることとなるのかをノート・新聞・プレゼンなどの事例で示し、学んだことを日常生活に生かすように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、毛筆について1字の漢字の点画の接し方や交わり方の学習の後に、2字の漢字の筆順や形の関係、平仮名の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第4学年で硬筆は12ページ、毛筆は30ページであり総ページ数は45ページで前回より10パーセント増となっている。</p>
<p>使 用 上 の配 慮 等</p>	<p>○ 学習ポイントを解説するキャラクターが登場したり、教科書と関連した教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 学習過程が示され、学習を振り返って吟味する投げかけや自己評価欄を設ける（全学年）など、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 巻頭に学習のめあてが掲載されていたり（全学年）、巻末に当該学年で習う漢字が掲載されていたり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

# 国語科調査研究報告書

書名 観点	三省堂 小学生の書写 1 3 3   2 3 3   3 3 3   4 3 3   5 3 3   6 3 3
取扱内容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～画の交わり方を比べる活動などを通し、文字を正しく書く。 第3,4学年～行の中心に留意して書く活動などを通し、文字を整えて書く。 第5,6学年～用紙に合わせて書く活動などを通し、配列を決め文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～2字までの漢字や平仮名の題材で、点画の形と筆の動きに注意して書く活動などを通し、点画の種類、筆圧に注意して書く。 第5,6学年～漢字仮名交じりの題材で、文字のつながりを理解して書く活動などを通し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～文字の組立て方、配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。 第5,6学年～書く速さと点画など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用・探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「ひろげよう」において、お礼の手紙を書く活動。 第3,4学年～「ひろげよう」において、見学したことを新聞に書く活動。 第5,6学年～「ひろげよう」において、よびかけのポスターを書く活動。</p>
内容の構 成 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成については、学校生活における様々な書く場面を取り上げたり、グループや学級で役割分担をしながら取り組む活動を設定したりするなど、学んだことを日常生活に生かすように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、毛筆について1字の漢字の「曲がり、そり」などの点画の学習の後に、2字の漢字の筆順、字形、文字の組立て方や平仮名の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第4学年で硬筆は5ページ、毛筆は30ページであり、総ページ数は45ページで前回より約2パーセント増となっている。</p>
使用上の配 慮 等	<p>○ 学びの手順を分かりやすく示したり、学習のポイントを簡潔な言葉で表現したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 教科書に書き込める欄を随所に設けたり、学習を振り返る「確かめよう」を設定したりするなど、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 巻頭には書写に関連した教材を掲載したり（全学年）、書き初めを取り上げたり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

# 国語科調査研究報告書

書名 観点	<p style="text-align: center;">教出 小学 書写</p> <p style="text-align: center;">1 3 4    2 3 4    3 3 4    4 3 4    5 3 4    6 3 4</p>
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～画の方向に気を付けて書く活動などを通し、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～筆順に気を付けて書く活動などを通し、文字の形を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～様々な用紙に書く活動などを通し、大きさや配列を決めて書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画の形と筆の運び方に注意して書く活動などを通し、点画の種類を理解して書く。</p> <p>第5,6学年～漢字仮名交じりの文言題材で、点画相互、文字のつながりを意識理解して書く活動などを通し、穂先の動きを理解して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～毛筆で学んだ筆圧や筆使い、筆順と点画の接し方を生かして硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～目的にあった筆記具の利用など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通し、書写の能力の基礎を身につける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用・探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「書いてつたえよう」において、招待状を書く活動。</p> <p>第3,4学年～「書いてつたえよう」において、読書カードや新聞を書く活動。</p> <p>第5,6学年～「書いてつたえよう」において、ポスターや文集を書く活動。</p>
内 容 の 構 成 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成については、各学年の硬筆教材を「おおきなかぶ」など国語の教科書から取り入れたり、手紙やはがき、掲示物の書き方を示したりするなど、学んだことを日常生活に生かすように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、毛筆について基本点画を反復し、穂先の向きと画の方向の学習の後に、2字の漢字の筆順と字形の関係や平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第4学年で硬筆は8ページ、毛筆は33ページであり、総ページ数は57ページで、前回よりも10パーセント増となっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 基本的な書き方について「書写の体操」を設けたり、「穂先の通り道」を分かりやすく示したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 学びの初め終わりに「ためし・まとめ」をする欄を設け、学習の成果を確認できるなど（3～6年）児童が主体的に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 巻頭に書写に関連した教材を掲載したり、繰り返し確認できるよう裏表紙に筆記具の持ち方を示したり（全学年）するなど使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

# 国語科調査研究報告書

書名 観点	光村 書写					
	1 3 5	2 3 5	3 3 5	4 3 5	5 3 5	6 3 5
取扱内容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～画の付き方を考えて書く活動などを通し、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～字形の違いを考え書く活動などを通し、文字の形を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～用紙の大きさを考えて書く活動などを通し、配列を決めて書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画の形とその形を作る筆の運び方に注意して書く活動などを通し、筆圧に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～漢字仮名交じりの文言題材で、点画相互、文字のつながりを意識理解して書く活動などを通し、点画のつながりを理解して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～毛筆で学んだ点画の筆使いや文字の配列を生かして硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～毛筆で学んだ穂先の動きや文字の大きさ、配列を生かして硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用・探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～「しりょう」において、観察カードや手紙を書く活動。</p> <p>第3,4学年～「しりょう」において、はがきや新聞を書く活動。</p> <p>第5,6学年～「資料」において、ノートやメモを書く活動。</p>					
内容の構成 ・分量 等	<p>○ 内容の構成については、各学年の巻末に資料を掲載し、手紙や原稿用紙、新聞、聞きとりメモの例をいつでも参照できるように整理するなど、学んだことを日常生活に生かすように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、毛筆について漢字の筆順と画の付き方や、部分の組立方の学習の後に、平仮名の筆使いや2字の漢字の大きさについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については、第4学年で硬筆は7ページ、毛筆は34ページであり、総ページ数は49ページで、前回より2パーセント増となっている。</p>					
使用上の配慮等	<p>○ 運筆リズムをイラストや図、擬態語で表現したり、成果を確認できる自己評価欄を設けたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 文字を書くときのポイントを整理し、他の字を書くときに生かせるよう示した「たいせつ」を設け、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 巻頭には「学習の進め方」を掲載したり（4～6年）、巻末に書写に関連したコラム記事を掲載したり（2～5年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>					
その他						

# 国語科調査研究報告書

書名 観点	日文 小学書写  1 3 6    2 3 6    3 3 6    4 3 6    5 3 6    6 3 6
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。          第1,2学年～画の交わり方を考えて書く活動などを通し、文字を正しく書く。          第3,4学年～字の組立てを考え書く活動などを通し、文字の形を整えて書く。          第5,6学年～様々な用紙に合わせて書く活動などを通し、配列を決めて書く。</li> <li>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。          第3,4学年～1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画の形と筆の運び方に注意して書く活動などを通し、点画の種類を理解しながら書く。          第5,6学年～漢字仮名交じりの文言題材で、点画相互、文字のつながりを意識して書く活動などを通し、穂先の動きやつながりを理解して書く。</li> <li>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。          第3,4学年～毛筆で学んだ文字の組立てや筆順と字形を生かして硬筆で書く活動などを通し、書写の能力の基礎を身に付ける。          第5,6学年～目的にあった筆記具の利用など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通し、書写の能力の基礎を身に付ける。</li> <li>○ 知識・技能の習得、活用・探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。          第1,2学年～「広がり学び」において、絵日記や年賀状に書く活動。          第3,4学年～「広がる学び」において、お礼の手紙や学級や新聞を書く活動。          第5,6学年～「広がる学び」において、ポスターやメモを書く活動。</li> </ul>
内 容 の 構 成 の 構 成 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成については、各学年に応じて、はがきや手紙、メモ、ポスターなど実用的な書式を教材化することにより言語感覚を養い、学んだことを日常生活に生かすように配慮されている。</li> <li>○ 内容の排列については、毛筆について1字の漢字の基本点画や画の長さ、間隔、方向の学習の後に、2字の漢字の筆順と字形の関係、部分の組立てについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量については、第4学年で硬筆は11ページ、毛筆は37ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様になっている。</li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標の達成に向けたヒントを投げかけるキャラクターを使用したり、自己評価欄を設けたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 毛筆教材に「副教材」を設定し、主教材での学習を別の文字に生かす活動を取り上げるなど、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 巻頭に「学習のめあて」を掲載したり、巻末に次学年の学習を掲載したり（2,4,5学年）するなど使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	